

中部支部公開気象講座報告

日本気象学会中部支部主催の公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるもので、今年で14回目を数えます。今年度は、「気象観測のブレイクスルー：GPS 掩蔽法」というテーマで8月25日（月）に名古屋能楽堂会議室において行われました。講演者（敬称略）と講演題目は以下の通りです。

1. 津田敏隆（京都大学生存圏研究所）

「GPS で気温プロファイルを測る：GPS 電波掩蔽法」

（概要）GPS（電波）掩蔽法による気温・湿度プロファイル導出の基本原理とデータの特徴、GPS 掩蔽データを用いた国内外の研究の動向を紹介した。

2. 村山泰啓（情報通信研究機構電磁波計測研究センター）

「GPS 掩蔽データからの気象情報の抽出：水蒸気プロファイルの推定」

（概要）GPS 掩蔽観測の信号データに含まれる気温・水蒸気（湿度）の情報から、それぞれを精度よく求める手法やその成果について詳しく紹介

した。

3. 小司禎教（気象庁気象研究所）

「天気予報精度向上に向けた GPS 掩蔽データの利用」

（概要）数値予報の原理を解説し、GPS 掩蔽データを用いることで、数値予報に大きな改善がもたらされることを具体的な事例を示しながら紹介した。

今回の公開気象講座では、GPS を用いた斬新な大気観測手法である「GPS 掩蔽法」を取り上げました。参加者は約50名でした。参加者のアンケートでは、GPS 掩蔽法の斬新さとその重要性が分かり、大変有意義であったとの意見が多く見られました。一方で、一般の方にはやや難解であるとのこと指摘も頂ました。アンケートのご意見を参考にし、より多くの方に分かりやすい公開講座になるよう、一層の努力をしていきたいと思っております。最後に紙面をお借りして、講演を快く引き受けてくださった講演者の皆様に感謝いたします。